



かわの情報誌

特集

和歌山県

『水の国、わかやま。』キャンペーン

兵庫県

ジオラマ模型を活用した草の根広報の展開
- 学校と連携して

兵庫県が取り組む総合治水のPR -

神戸市

昭和42年水害から50年
～都市基盤河川改修事業の成り立ち～

2017 夏号

NO. 98

特集

- 3 『水の国、わかやま。』キャンペーン … (B)
和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課
- 5 ジオラマ模型を活用した草の根広報の展開 … (C)
- 学校と連携して兵庫県が取り組む総合治水のPR -
兵庫県県土整備部土木局総合治水課
- 7 昭和42年水害から50年 ～都市基盤河川改修事業の成り立ち～ … (D)
神戸市建設局防災部河川課 山本 昌伸

9 インフォメーション

- ・京の七夕(鴨川会場他)【京都市】 … (E)
- ・鴨川納涼2017【京都府】
- ・昭和42年7月豪雨災害から50年学術シンポジウム【神戸市】
神戸の減災を考える～過去・現在・未来
- ・家棟川ビオトープ 魚の観察会【滋賀県】 … (F)
- ・足羽川エコキャンドル【福井県】 … (G)
- ・奈良県山の日・川の日【奈良県】
- ・山と川の月間【奈良県】

13 イベント情報

- ・狭山池歴史ウォーク【大阪府】 … (H)
- ・河川クリーンキャンペーン【大阪府】
- ・昭和42年豪雨災害から50年講演会【神戸市】
『～忘れない！土砂災害のおそろしさ 守りたい！六甲山と私たちの暮らし～』
- ・京の七夕【京都市】
- ・鴨川探検再発見第45弾【京都府】
- ・第18回あつまれ！あおがき探検隊【奈良県】
- ・第23回みんなのかっぱ教室【奈良県】



灯の路 (H28.1.10)

飛鳥川は、奈良県橿原市、田原本町などをとり、大和川に合流する一級河川です。田原本町内の飛鳥川沿いで、平成22年から「飛鳥川を軸とした川辺のまちづくり」を実施しています。

「飛鳥川を軸とした川辺のまちづくり」では、毎月第一土曜日に地域の方と一緒に河川清掃や、年2回行う花植え活動、川沿いにある多神社（たじんしゃ）との連携イベント「灯の路と大とんど」を行っています。

また、7月には、「奈良県山の日・川の日」のイベントのひとつとして河川清掃を行っています。

(A) 飛鳥川 あすかがわ



※図中 **(A)~(H)** は記事の位置を示しています。



花植えイベント (H28.6.16)



「奈良県山の日・川の日」
飛鳥川一斉清掃 (H28.7.2)

『水の国、わかやま。』キャンペーン

和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 河川課

「水の国」という意外性のあるテーマ設定により注目度を高め、世界遺産ブランドを取り込みながら集客力の弱い観光資源に焦点をあて、まだまだ知られていない「和歌山の魅力」を発信しようと『水の国、わかやま。』キャンペーンを実施しています。

また新たな観光資源の開発やブラッシュアップにより集客力を高め、将来に繋がる持続可能な観光地づくりを目指します。

和歌山県は、「木の国」と言われていますが、森林を育むのは「水」であり、「水」を育むのは森林です。県内各地には、水や森林に関連する清流・滝・海・温泉などのスポットや醤油・酒・酢などの食、カヌーやラフティングなどの体験メニューといった多くの「水」に関連する観光資源が存在します。また、「水」の造形でもある南紀熊野ジオパークや水辺を楽しむサイクリングロードなども「水」にまつわる観光資源です。

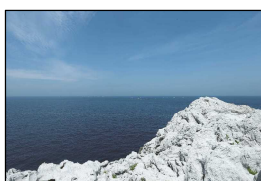


キャッチフレーズ

和み、和らぐ。和歌山からはじまる旅。～「水の国、わかやま。」キャンペーン～

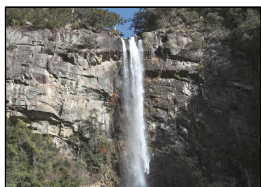
テーマ

「水を見る」～水の絶景～



紀伊半島をぐるり囲む太平洋、奥深い山々をくぐり抜けた清冽な水をたたえる河川や溪谷。そこには見る者の心を洗う清らかな水、さらに、この地の風土が生み出した圧巻の景色が相まった、水の絶景が広がっています。

「聖なる水」～世界遺産「高野山」「熊野」の聖水～



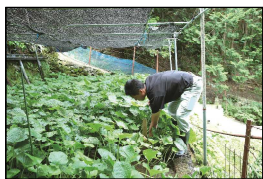
紀伊山地の豊かな降水は、山深い地に森林を育み、豊かな森が育てる水は、やがて雄大な川や滝となり、古より人々に神格化されてきました。

「水が創る」～溪谷、温泉～



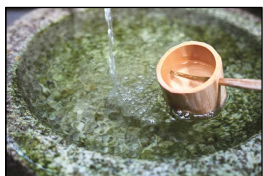
地層に染み込み、大地から湧き出るミネラルを含んだ天然の温泉もまた、私たちの心と体を癒やしてくれる水の恵みといえます。

「水に寄り添う」～暮らし～



「理想の味には、豊かな水の恵みが必要不可欠」と、清らかな水に富む場所に店や田を構え、水に感謝しながら、水と共に暮らしています。

「水を活かす」～醤油、酒、酢、氷などの食～



水が味を左右すると言われる日本酒はもちろん、ビールの製造や織物の加工にまでも、名水のある環境を活かした良質なものの作りが行われています。

「水と遊ぶ」～川・海のアクティビティ～



キラキラの青い海や澄み渡る川にプカプカと浮かんだり、潜ったり。水と一体になって遊ぶアクティビティ体験ができます。

「水を育む」～トレッキング、山・森のアクティビティ～



豊かな水を育む和歌山の雄大な山の道に行くトレッキングコースは、自然や歴史を感じながら歩くことができます。

地域

和歌山県全域

時期

平成28年7月21日～平成30年3月31日

キャンペーンガイドブックの作成

- ・冊子規格/A4サイズ・カラー・36ページ
- ・主な配置場所 京阪神主要SA、近畿道の駅、わかやま紀州館、名古屋観光センターなど

イベント（大阪）

内山りゅう写真展『水のこと 水の国、わかやま。』開催～

- ・福岡会場〈期間〉平成29年7月28日(金)～8月2日(水)
〈会場〉富士フィルムフォトサロン 福岡
- ・大阪会場〈期間〉平成29年9月1日(金)～7日(木)
〈会場〉富士フィルムフォトサロン 大阪 スペース2

キャンペーン専用WEBサイト（日本語版・英語版）の開設

- ・和歌山の清らかな水ストーリーを内山りゅう氏の写真でつづるスライドショーのほか、県内の水にまつわる観光資源を紹介

「水の国、わかやま。」キャンペーンサイト

<https://www.wakayama-kanko.or.jp/mizunokuni/>



【お問い合わせ】

和歌山県観光振興課

TEL:073-441-2775

(公社)和歌山県観光連盟

TEL:073-442-4631



ジオラマ模型を活用した草の根広報の展開

— 学校と連携して兵庫県が取り組む総合治水のPR —

兵庫県県土整備部土木局総合治水課

1 はじめに

兵庫県では、近年、平成16年台風第23号、平成23年台風第12号・第15号など大きな水害が発生してきたこともあり、都道府県では初となる『総合治水条例』を平成24年4月に施行しました。

本条例では、県下全域で総合治水に取り組むため、従来から取り組んできた河川・下水道対策に加え、雨水を一時的に貯留する流域対策、浸水した際でもその被害を軽減する減災対策を組み合わせた「総合治水」の取組を推進することとしています。

特に、流域対策、減災対策については、県民との連携・協働が重要であることから、総合治水の必要性を県民に周知し、理解してもらうため、県内のいくつかの学校と連携して総合治水のジオラマ模型を製作し、様々なイベントでPRブースを出展したり、小学校での出前講座を実施したりするなどの草の根的な広報に取り組んでいますので、その内容を紹介いたします。

草の根広報一覧（平成28年度）

種 類	実 施 内 容
模型を用いたイベント広報	<ul style="list-style-type: none"> ・西播磨フロンティア祭 2016 ・揖保川水系総合防災演習 ・青少年のための科学の祭典 等 24回
出前講座	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚市立美座小学校 等 7回
現地体感バスツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路地域コース 1回

2 ジオラマ模型の製作

県民にとって、一般的な「治水対策」がどのようなものかは何となく想像できるかもしれませんが、「総合治水」の内容はあまり知られていませんし、そもそも聞いたことがない方も多いと思います。そのため、内容も含めて「総合治水」の周知をするためには、取組内容をイメージしやすく、覚えてもらえるようなPRの方法が求められます。

そこで、模型実験により総合治水の必要性や効果を実感してもらうため、神戸大学、高専、県立の工業系の高校等10校と連携してジオラマ模型を製作しました（これまでに13基を作成）。



県（ダムの模型）



国立明石高専
（ため池、城の堀等で貯留する模型）



神戸高専
（校庭、芝生等で貯留する模型）



県（土石流の模型）

そして、これらの模型を活用した実験を中心とした出前講座などを実施することにより、総合治水の内容を理解して頂くこととしました。

また、製作に携わった学生自らも、独自に小学校での出前講座を行ったり、各種イベントでのPR活動を行ったりするなど、普及啓発にも取り組んで頂いています。

3 総合治水出前講座の概要

当課の出前講座では、まず、総合治水の概要を知ってもらうために、クイズをして正解内容を説明しています。

その説明の後に、模型実験を行います。具体的には、児童に、じょうろで雨に見立てた水を模型に降らしてもらい、ため池やグラウンドなどでの「ためる」、「浸透する」対策をしていない場合と対策をした場合の違いを観察してもらいます。

そして、実験の結果について説明を行い、大雨の際に河川に集中する雨水の「量を減らす」、「流出時間を遅らせる」効果があることを児童に学んでもらっています。

なお、平成 29 年度は、加古川市立平岡北小学校で出前講座を行いました。この出前講座では、クイズ、模型実験に加えて校庭貯留の動画視聴・説明をしました。学校で取り組める「ためる」対策の一つである「校庭貯留」は児童にとって驚きであったようで、興味を持ってもらえるポイントでした。



出前講座(平岡北小学校)

4 様々な広報活動の展開へ

イベントでのPR活動や出前講座でのポイントは、どうすれば児童の興味を引くことができるのか、どうすれば記憶に残るかではないでしょうか。そのような観点から、当課で実施している出前講座などは実験に参加してもらうことで、総合治水を印象づけようとしています。

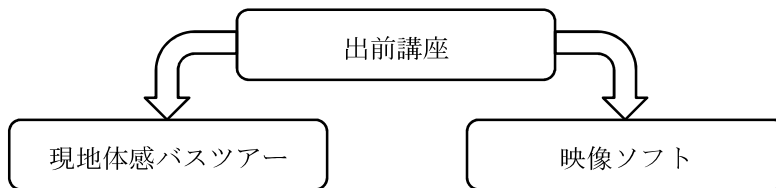
また、実際に現地を見学してもらうという体験を通じて総合治水を知ってもらうため、県民の方を対象とした現地体感バスツアーも平成 27 年度から実施しています。さらに、今年度は、総合治水を学べる映像ソフトを作成し、より多くの児童に学習機会を提供していく予定です。



西播磨フロンティア祭



バスツアー(淡路島内)



5 おわりに

本県の総合治水条例は、行政だけでなく県民も協働で取り組むことを基本理念としています。そのため、広報活動なくして総合治水を推進することはできないと考え、様々な活動を展開しています。

広報活動は、県民に伝わってこそ価値があるものですが、これをすれば良いというような正解はありませんし、改善したり、新たな取り組みを行ったりといったことを繰り返すことが大切なのかもしれません。

実際に広報活動を行っているとき、模型実験を楽しむ児童に接することができますし、アンケートなどの県民の声を直接いただくこともできますので、日常業務の励みにもなるという相乗効果もあると感じます。

今後も、総合治水の普及啓発を行い、県・市町・県民が相互に連携し協働して総合治水を着実に推進してまいります。



“雨水をためる”はばタン

昭和 42 年水害から 50 年 ～都市基盤河川改修事業の成り立ち～

神戸市建設局防災部河川課 山本昌伸

1. はじめに

神戸市内を流れる河川は、大別すると 5 つの水系に分類することができます。この内、神戸市の中心市街地を流れる表六甲河川群は、河川延長に対して勾配が急峻で、短時間で大量の降雨が流出するため、昔から水害に悩まされてきました。

平成 29 年は、神戸市内で多くの被害を出した昭和 42 年水害からちょうど 50 年となります。この水害は、市が主体となって事業を行う都市基盤河川改修事業のきっかけとなったものです。今回は、神戸市における過去の水害を述べると共に、それを受けて創設された都市基盤河川改修事業と、現在の神戸市の取り組みについて紹介します。

2. 昭和の 3 大水害の概要

神戸市では、昭和 42 年水害を、他 2 つの水害と合わせて、昭和の 3 大水害と呼んでいます。各水害をきっかけに、治山・治水事業が大きく進むことになりましたので、それぞれの水害について概略を紹介します。

(1) 昭和 13 年水害（阪神大水害）

最初の水害は、昭和 13 年 7 月に発生した梅雨前線による水害で、阪神大水害と呼ばれています。六甲山の各所で山腹が崩壊し、表六甲の各河川は土石流を伴う大氾濫を起こしました。

江戸時代、六甲山ははげ山状態でがけ崩れ等がたびたび生じていたため、明治以降、植林等の砂防事業が行われていましたが、水害による被害を防ぐことはできませんでした。

この水害を契機に、表六甲の河川改修は国の直轄事業で進められることになりました。また、六甲山の治山・砂防事業も、現在の六甲砂防事務所が設立され、国の直轄で行われることになりました。



写真-1 三宮そごう前を流れる濁流

(2) 昭和 36 年水害

2 つ目の水害は、昭和 36 年 6 月に発生した梅雨前線による水害です。

この水害では、住宅造成地の斜面などが崩壊し、阪神大水害に次ぐ大きな被害が出ました。

この水害をきっかけに、集中豪雨によるがけ崩れ防止を目的に、宅地造成等規正法が制定されることになりました。

(3) 昭和 42 年水害

3 つ目の水害は、昭和 42 年 7 月に発生した水害です。

最大時間雨量が阪神大水害に匹敵する規模であったにもかかわらず、被害がそこまで甚大ではなかったのは、昭和 13 年以降の治山・治水事業の効果があったものと考えられます。

しかし、表六甲河川では市街地を流れる中小河川の氾濫や土石災害が多発し、都市河川の早期改修の必要性がうたわれるようになりました。

この水害を期に、昭和 45 年に後述する都市小河川改修事業が



写真-2 流木等が堆積した観音寺川

創設されたほか、砂防三法のひとつ「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」が昭和 44 年に制定されることになりました。

表-1 各水害の被害状況

水害	総雨量	最大時間雨量	死者・行方不明者	全壊・半壊
阪神大水害	461.8mm	60.8mm/h	695 人	10,537 戸
昭和 36 年水害	472.1mm	44.7mm/h	31 人	403 戸
昭和 42 年水害	319.4mm	75.8mm/h	98 人	757 戸

3. 都市基盤河川改修事業の創設と神戸市の取組み

前述の通り、昭和 42 年水害を受けて、都市河川改修の必要性がうたわれるようになりました。

そこで、神戸市を含む当時の政令市が主体となり国に要望し、昭和 45 年に「都市小河川改修事業」（現「都市基盤河川改修事業」）が創設されました。これにより、従来は国や県が主体であった一級・二級河川の改修を市が主体となって事業を行うことができるようになりました。

神戸市では、昭和 45 年の制度創設当初から都市河川の改修に取り組んでいます。都市基盤河川改修事業の対象河川は 18 河川で、その内 15 河川については改修が完了しており、残り 3 河川（妙法寺川、伊川及び櫛谷川）の改修を現在鋭意進めています。

○これまでの取組み

通常、河川改修では、川幅の拡幅や河床の切り下げなど、河道断面を拡大しますが、表六甲の河川の場合、河川周辺には家屋が密集しており、川幅を拡幅することは困難でした。そのため、分水路や放水路を地下河川として整備してきました。現在では、10 河川が地下河川となっています。

都市基盤河川改修事業での地下河川の整備事例として、塩屋谷川放水路を紹介します。

塩屋谷川は、垂水区の住宅街を流れて大阪湾に注ぐ二級河川ですが、川沿いに家屋が密集しており、川幅の拡幅が困難であったため、鉢伏山を貫くトンネル放水路を建設しました。トンネルの入口には土砂流入防止用に沈砂池を設置しています。

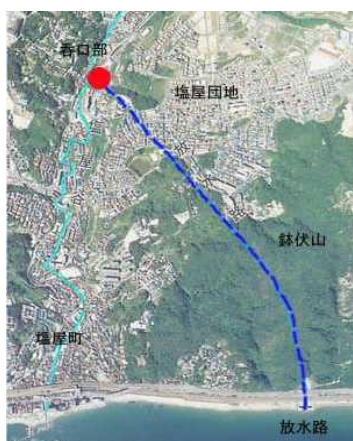


写真-3 位置図

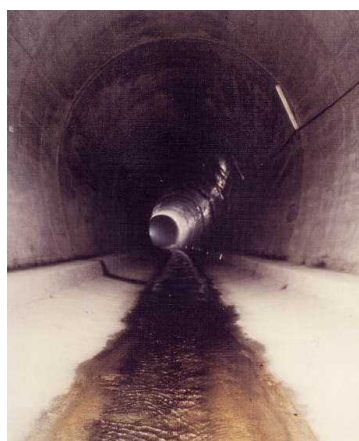


写真-4 放水路内部



写真-5 放水路入口(沈砂池)

4. おわりに

神戸市では、昭和 42 年水害から 50 年という節目に、国や県と共同でシンポジウム等の開催を予定しています。今後も、過去の水害を忘れず、またそれらを教訓として、引き続き都市基盤河川改修事業に取り組んでいく所存です。

京の七夕（鴨川会場他）

■場所：京都市内各所

テーマ：「願いを京都に」～あなたの「願い」を京の夏の空に届けます～

昨年は、85万人を超える来場者で賑わった「京の七夕」、京都の夏の風物詩として定着しつつあります。今年で早くも8回目を迎えることになりました。今年も家族や友人など、大切な人と夏の思い出を作りませんか。今年は、鴨川会場を中心に紹介します。

<鴨川会場 平成29年8月5日～11日、午後7時～午後9時30分>

- ・開催エリア：(仏光寺通～御池通) 周辺 鴨川河川敷
- ・昨年度までに実施されたイベントを参考に紹介します。

○ 風鈴灯



○ 七夕かざり



○ 着物や浴衣など和装でのご来場者には、「手提げ竹提灯」をプレゼント！



○ 協賛事業も開催
(友禅流しの実演)



光の天の川



願い七夕
(堀川会場の紹介)

※ 数量に限りあり（先着順）

<その他の会場 平成29年8月2日～16日、午後7時～午後9時30分>

堀川会場、二条城会場、梅小路公園会場、北野天満宮 北野紙屋川会場、岡崎会場

（開催期間・内容・時間は会場毎に異なります。また、会場数等についても、変更される可能性がありますので直前の情報にてご確認をお願いします。）

昨年度は、八坂神社では夕涼みコンサート、西陣織会館では、ゆかたショー体験などの協賛事業も行われました。（最新情報を取得して、夏の京都を満喫してください！）

<その他>

追加の会場情報、その他会場の事業内容については、決定次第、京の七夕公式 WEB サイトで公開します。

京の七夕公式 WEB → <http://www.kyoto-tanabata.jp/>

鴨川納涼 2017

- 日時：8月5日（土）17：00～22：00、8月6日（日）17：00～21：00
- 場所：鴨川三条大橋～四条大橋 右岸河川敷

鴨川納涼は、河川の美化・伝統産業などの普及啓発コーナーの設置や、京都府内市町村や各県人会による地元物産販売の実施、ステージイベントの開催を行い、京の夏の風物詩として多くの府民・観光客に親しまれています。



- ・交通機関
最寄り駅：京阪祇園四条または三条駅下車
徒歩5分
- ・問い合わせ先
公益社団法人 京都府観光連盟本部事務局
TEL：075-411-9990
<http://www.kyoto-kankou.or.jp/news/?id=893>

昭和42年7月豪雨災害から50年学術シンポジウム 神戸の減災を考える～過去・現在・未来

- 日時：平成29年7月9日（日） 14:00～17:30
- 場所：神戸ポートオアシス（兵庫県神戸市中央区新港町）

昭和42年7月9日に神戸市において発生した豪雨災害から50年を迎え、これまで培われてきた技術や今後の災害の軽減に向けた新たな取組み等を情報発信するとともに、災害の記憶を風化させることなく次世代に継承することを目的に、学術シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムでは、これまでの災害を教訓とした取組みをはじめ、まちづくりを進めるための技術対策や最新の知見の紹介、国や企業・研究機関・自治体による最前線の防災への取組み等を題材としてパネルディスカッションを実施します。

- ・主な内容（予定）
 - ・基調講演：「神戸の減災を考える～過去・現在・未来」
 - ・パネルディスカッション：「これからの防災・減災まちづくりの進め方」
コーディネーター：沖村 孝 神戸大学名誉教授
- ・問い合わせ先：神戸市みなと総局技術部工務課（078-322-5725、5726）

家棟川ビオトープ 魚の観察会

■日時：平成 29 年 9 月 3 日（日）午前 9 時～12 時頃まで

■場所：家棟川ビオトープ（滋賀県野洲市野田地先）

野洲市を流れる家棟川のビオトープにおいて、湖や川の生物、植物にふれあえる自然観察会を開催します。家棟川ビオトープは、野洲市野田地先の湖岸道路沿いにあり、平成 12 年度から琵琶湖と陸域との推移帯（水辺のエコトーン）の再生を目的に作られたものです。

【イベント内容】

- 船に乗って家棟川周辺の自然や魚の観察
- ビオトープ内の池で魚類や貝類、昆虫の採取と観察
- ビオトープ内の野草やびわ湖で捕れた魚の天ぷらの試食会
- 募集人数：先着 30 名

※応募方法等、詳しくはこちらをご覧ください

http://www.pref.shiga.lg.jp/h/kako/yanamune_biotop/yanomune_biotop.html

・交通機関：車でご来場ください（駐車場有）

・問い合わせ先 滋賀県流域政策局 河川・港湾室 河川環境係

TEL：077-528-4154

E-Mail：ha04@pref.shiga.lg.jp



足羽川エコキャンドル

■日時：平成 29 年 7 月 15 日（土）（予備日 7 月 17 日（祝日・月） 午後 7 時～午後 8 時半）

■場所：足羽川木田橋上流左岸（福井県福井市春日 1 丁目）

足羽川激特事業の竣工から 8 年目を向かえ、今後も福井豪雨の教訓を風化させず、川への親しみ・環境への想いを深めるためのイベントです。

園児たちが製作したエコキャンドル約 300 個を堤防決壊現場付近に並べ、一斉に火を灯します。園児たちが描いた風よけのキャンドルカバーに復興の光が揺らめき、地元住民らが被害の記憶や防災の心構えをあらためて胸に刻みます。柔らかい光が足元を照らす中、堤防沿いの散策を楽しむことができます。



※注意事項

①当日は特に受付などはございませんので、自由に参加頂きます。

②駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

・交通機関：最寄り駅：JR 福井駅から徒歩 20 分

・問い合わせ先 「まちなか足羽川会議」

福井県土木部河川課 TEL 0776-20-0480

奈良県山の日・川の日

■日時：平成 29 年 7 月 17 日（月・祝）ほか

■場所：奈良県内各地

海に面していない奈良県では、山と川が身近な自然であり、歴史と文化の源です。山と川の重要性や魅力について理解を深め、奈良の美しい山と川を次世代へ引き継いでいくことを目指して、国民の祝日である 7 月の第 3 月曜日（海の日）を「奈良県山の日・川の日」と決めました。

「奈良県山の日・川の日」当日や周辺の日では、奈良県内各地で河川清掃などの様々な取組が行われます。中でも明日香村あすか風舞台（飛鳥川）で行われる「第 2 3 回みんなのかっぱ教室」は、奈良県水生生物研究会会長の谷幸三先生をお招きし、水辺の生き物や、川の水質について楽しく学びますので、みなさま是非ご参加ください！

◆問い合わせ先

- ・奈良県県土マネジメント部河川課河川環境・水防係
- ・TEL：0742-27-7507
- ・FAX：0742-22-1399

山と川の月間

■日時：平成 29 年 7 月～8 月

■場所：奈良県内各地

奈良県では、平成 26 年 11 月 16 日に天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、「第 34 回全国豊かな海づくり大会～やまと～」が開催されました。この大会の基本理念「山は川を育み、川は海を育む～山・川・海の自然の恵みを未来に～」を継承するため、従来の「山と森林の月間」を拡充し、7 月と 8 月の 2 ヶ月間を「山と川の月間」として、普及イベントの開催等を行います。

中でも、ポスト「全国豊かな海づくり大会」イベント実行委員会が主催する、“山もり・てんこ森～山・川・海の恵みを未来へ～” は必見です！毎年恒例の山もり・てんこ森がパワーアップし、これまでの竹を使ったバウムクーヘン作り、森林体験や木工クラフト等に加えて、県内市町村の特色を活かした出展をお楽しみ下さい！

◆問い合わせ先

- ・ポスト「全国豊かな海づくり大会」イベント実行委員会
（奈良県農林部森林整備課森林環境課）
- ・TEL：0742-27-7612
- ・FAX：0742-22-1228

狭山池歴史ウォーク

- 日時：毎月第2日曜日
- 場所：大阪府大阪狭山市池尻中二丁目
- 問い合わせ先：狭山池博物館・郷土資料館
協働運営委員会
Tel：072-367-8891

河川クリーンキャンペーン

- 日時：通年
- 場所：大阪府内河川
- 問い合わせ先：大阪府都市整備部河川環境課
Tel：06-6941-0351

昭和42年豪雨災害から50年講演会

『～忘れない！土砂災害のおそろしさ

守りたい！六甲山と私たちの暮らし～』

- 日時：7月29日（土）
12：00 開場
13：00 開会
- 場所：兵庫県看護協会 2階
ハーモニーホール
(兵庫県神戸市中央区下山手通 5-6-24)
- 問い合わせ先：
近畿地方整備局
六甲砂防事務所調査課
Tel：078-851-0535

京の七夕

- 日時：8月5日(土)～8月11日(金)
19時～21時30分
- 場所：鴨川（四条大橋～御池大橋）
堀川通沿（御池通～今出川通）など
- 問い合わせ先：
京の七夕実行委員会事務局
京都市産業観光局観光 MICE 推進室
Tel：075-222-0389

鴨川探検再発見 第45弾

- 日時：7月23日（日）
13時30分～15時30分(事前申込必要)
- 場所：鴨川賀茂大橋右岸北詰
(京阪「出町柳」駅から徒歩5分)
- 問い合わせ先：京都府建設交通部河川課
Tel：075-414-5288
kasen@pref.kyoto.lg.jp

第18回あつまれ！あおがき探検隊

- 日時：平成29年7月23日（日）
9：30～14：00
- 場所：奈良県桜井市 初瀬ダム
- 問い合わせ先：奈良県河川課 あおがき探検隊係
Tel：0742-27-7504

第23回みんなのかっぱ教室

- 日時：平成29年7月17日（月・祝）
10：00～15：00
- 場所：奈良県明日香村 あすか風舞台 飛鳥川
- 問い合わせ先：奈良県河川課 かっぱ教室係
Tel：0742-27-7504

編集後記

投稿していただいた各府県と各政令市のご担当者様におかれましては、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。

編集作業を行う中で、特に兵庫県さんが投稿された特集記事「ジオラマ模型を活用した草の根広報の展開」には、とても興味深いものがありました。なぜなら、奈良県では、大和川流域における総合治水に関する条例の制定を目指しており、広報にも力をいれていかなければと思っていたため、非常に勉強になりました。これからも「さらさ」を活用し、連携を深めていければと思います。

編集担当：奈良県県土マネジメント部河川課 井上 貴照